

内分泌代謝科研修目標

生活習慣病として現在社会問題となっている糖尿病、高脂血症にくわえ内分泌臓器の異常による病態・疾患を診断し、ライフスタイルの指導を基本に薬物治療、非薬物治療を行う能力を身につける

経験すべき病態・疾患・検査・治療法

- 1、患者の現病歴、既往歴、ライフスタイル、などにつき十分な問診ができる
- 2、全身及び内分泌器官の診断に評価できる理学所見が正確にとれる

視診がおこなえる

全身

- A) 肥満・やせ
- B) 低身長・高身長

頭頸部

- A) 頭髪
- B) 顔貌（必要な場合は昔の写真なども借用して年余にわたる変化を確認する）
- C) 皮膚（座創・多毛）
- D) 口腔内の変化（色素沈着・巨大舌など）
- E) 頸部の腫脹
- F) 後頸部脂肪沈着

胸・腹部

- A) 皮膚の色素沈着・湿潤・発疹・多毛
- B) 女性化乳房
- C) 性毛
- D) 脂肪組織の増大

四肢

- A) 皮膚の光沢・色素沈着・湿潤・発疹・発毛・傷痕
- B) 骨関節変形
- C) 手指振戦・テタニー
- D) 末端肥大

聴診ができる

頸部

- A) 甲状腺部血管雑音の亢進

胸・腹部

- B) 腹部血管雑音

触診ができる

頭頸部

- A) 甲状腺（性状・腫大・結節）
- B) 頸部リンパ節腫脹

胸腹部

- A) 腹部腫瘤

四肢

- A) 下腿浮腫

3、内分泌疾患の診断に用いる特殊検査の適応が説明でき、実施できるために

糖尿病

インスリン抵抗性・分泌能につき説明できる

合併症

A)神経症 monofilament test、CVRR を解釈できる

B)網膜症 眼底検査の解釈ができる

C)腎症 尿中微量アルブミンを測定し診断に用いることができる

下垂体

ホルモン基礎値の検査を実施し解釈できる

視床下部ホルモン負荷試験を実施し解釈できる

インスリン負荷試験を実施し解釈できる

デキサメサゾン抑制試験を実施し解釈できる

パーロデル負荷試験を実施し解釈できる

サンドスタチン負荷試験を実施し解釈できる

MRI の読影ができる

甲状腺・副甲状腺

機能検査の解釈ができる

抗甲状腺抗体の検査の解釈ができる

画像検査（超音波断層検査・シンチグラフィー）の読影ができる

副腎

ホルモン基礎値の検査を解釈できる

立位ラシックス負荷試験の実施と解釈ができる

A C T H負荷試験の実施と解釈ができる

デキサメサゾン抑制試験の実施と解釈ができる

画像検査（CT・シンチグラフィー・MRI）の読影ができる

静脈サンプリングの実施と解釈ができる

4、適切な診断を行い速やかに的確な治療を行うことができるように、経験すべき疾患・病態

糖尿病（高血糖・低血糖・合併症の把握）

下垂体・副腎機能低下症

甲状腺機能亢進症・低下症

副甲状腺機能亢進症・低下症

2次性糖尿病の原因となる内分泌疾患

2次性高血圧の原因となる下垂体・副腎疾患

甲状腺機能・副腎機能低下症

低ナトリウム血症の原因

高カルシウム血症の原因

5、診察、検査に基づき診断を行った後に的確な治療をおこなうために

糖尿病

病態を把握して治療方針を立てる

糖尿病教育を受けるように患者に説明できる

内服薬の適応を述べ処方することができる

A) O H A

B) -G I

C) インスリン抵抗性改善薬

インスリン導入の適応を述べ行うことができる

S M B G 導入の適応を述べ行うことができる

合併症治療を他科と連携して速やかに診断し治療できる

ホルモン補充療法の適応を述べ実施できる

急性期治療の適応を述べ実施できる

低ナトリウム血症

内分泌疾患が原因となる鑑別診断をおこないすみやかに治療計画をたてることできる

高カルシウム血症

副甲状腺機能亢進症・副甲状腺腫瘍・2次性副甲状腺機能亢進症をはじめとして内分泌疾患が原因となる鑑別診断ができ適切に治療できる

P E I T 療法の適応を述べられる

下垂体機能異常症

鑑別診断をあげすみやかに治療計画をたてられる

2次性高血圧

鑑別診断をあげ速やかに治療計画をたてられる

副腎腫瘍

鑑別診断をあげすみやかに外科手術の適応を述べ、治療計画をたてられる